

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	独立行政法人国立女性教育会館施設整備に必要な経費			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	男女共同参画共生社会学習・安全課		男女共同参画共生社会学習・安全課長 安里 賀奈子	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人国立女性教育会館法			関係する 計画、通知等	第5次男女共同参画基本計画(令和2年12月25日 閣議決定)			
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	その他の事項経費			
施策	1-6 男女共同参画・共生社会の実現及び学校安全の推進							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-1_6.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	独立行政法人国立女性教育会館の設置する研修施設等の整備充実を図ることにより、男女共同参画社会の形成の促進に資することを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	令和2年度に主に今後10年を見据えたインフラ長寿命化計画(個別施設計画)を策定しており、それに基づき、今後も安心・安全な研修環境を維持するための施設改修や設備更新を実施する。							
事業概要 (5行程度以内)	独立行政法人国立女性教育会館が設置する研修施設等について、長期的視点に立った安心・安全な研修環境の維持のための施設改修、設備更新を行う(補助率100%)。 令和元年度 宿泊棟における非常用自家発電・電気設備の更新工事 令和2年度 屋外給排水設備改修工事 令和3年度 屋上防水改修工事 令和4年度 外壁改修工事							
事業概要URL	https://www.nwec.go.jp/facility/index.html							
実施方法	補助							
補助率等	定額補助							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	-	-	320	
		補正予算(B)	143	384	181	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	211	143	384	181	-	
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 143	▲ 384	▲ 181	-		
	予備費等(E)	-	-	-	-			
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	211	143	384	181	320		
	執行額(G)		211	143	207			
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	54%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		148%	37%	114%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	独立行政法人国立女性教育会館施設整備費			要求額のうち「重要政策推進枠」:320百円			
		(目)	独立行政法人国立女性教育会館施設整備費補助金	181				320
	計(A)		-	320				

活動内容① (アクティビティ)		安心・安全な研修環境の維持と災害時における施設の安定的活用のための施設改修・設備更新									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		施設改修・設備更新を計画的に進める	改修工事箇所数	活動実績	箇所	1	1	1	-	-	
				当初見込み	箇所	1	1	1	1	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	「活動内容①」にかかる成果実績は「独立行政法人国立女性教育会館が達成すべき業務運営に関する目標」に基づいて評価されることから、主務大臣評価(中期目標期間評価)を長期アウトカムに設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
		施設改修・設備更新の計画的実施	主務大臣による業務実績評価(中期目標期間評価)のうち、施設・設備に関する計画の項目において、B評価以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	-	-	-	-		
				目標値	%	-	-	-	100		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人国立女性教育会館の業務実績に関する評価(中期目標期間評価)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		中期目標期間中の成果目標は中期目標とそれに基づく年度目標によって定められているため									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		独立行政法人国立女性教育会館は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、もって男女共同参画社会の形成の促進に資することを目的に設置された。 これまで、施設を女性教育指導者等に対する研修のための利用に供するなど、男女共同参画社会の形成の促進に資する活動を行ってきた。国立女性教育会館での研修を足がかりに活動の幅を広げ、審議会委員等の地方の政策・方針決定過程に参画する者、消費者問題等の生活に視点をおいた地域社会作りを担う女性リーダー等を多く輩出するなど、その活動は成果を上げてきているが、国際的に見ると我が国の男女共同参画は他の先進国と比較してもいまだ低いレベルにある。※ また、国立女性教育会館では、運営委員会、外部評価委員会を開催し、積極的に外部の意見・評価を取り入れた適切な組織運営を行っており、その運営は公正であると判断する。 ※世界経済フォーラムが各国内の男女間の格差を数値化しランク付けした「ジェンダーギャップ指数」では、日本は156か国中120位(2021年)となっている。 支出先の選定は、一般競争入札により行っており、選定の妥当性や競争性を確保し、適切であると判断する。					目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度実施)				
改善の 方向性		日本における男女共同参画を推進するためにも、我が国唯一の女性教育に関するナショナルセンターである国立女性教育会館は女性教育・男女共同参画推進のための国内における活動の拠点、海外との連携の中核として、今後も引き続き必要である。また、令和2年11月17日に独立行政法人評価制度委員会より出された「独立行政法人の中(長)期目標の策定について」の内容を踏まえつつ引き続き効率的な執行に努めるとともに、より効果的・効率的な男女共同参画の推進に努める必要がある。また、今後も一般競争入札による、選定の妥当性や競争性を確保に努める。									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
207百万円

【補助】

独立行政法人国立女性教育会館の設置する研修施設の設備充実を図るため、会館が行う研修施設の整備に要する経費に対して補助を行う。

(A)独立行政法人国立女性教育会館
207百万円

独立行政法人国立女性教育会館の屋内給排水設備改修工事を行う。

【一般競争契約
(最低価格)】

(B)株式会社アレックス
14百万円

事業概要:
国立女性教育会館屋内給排水設備改修設計業務

【随意契約
(不調)】

(B)株式会社アレックス
8百万円

事業概要:
国立女性教育会館屋内給排水設備改修工事監理業務

【一般競争契約
(最低価格)】

(C)株式会社アペックエンジニアリング
185百万円

事業概要:
国立女性教育会館屋内給排水設備改修工事

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費補助金	屋内給排水設備改修工事に必要な経費	207	業務委託費	屋内給排水設備改修工事に必要な経費	14
計		207	計		14
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	屋内給排水設備改修工事に必要な経費	185			
計		185	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

